



旭山記念公園は全面開放となりました

ユニバーサル園路
擁壁工事中 赤色部分
周辺立入禁止
電気柵設置要注意
2022年1月までには
工事が終了し、通行
可能となる予定です



ヒグマ出没により夏以降全面閉鎖や部分開放が続いていた旭山記念公園ですが、11月19日(金)より全面開放となりました。

ただし、現在一部ユニバーサル園路擁壁工事が行われており、その部分は立入禁止、工事の状況によってはその周辺も一時的に通れなくなることがあります。工事は1月中旬までには終わる予定です。

みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。



樹木の実(種子)が軒並み不作なこの冬 ~ヌルデに注目

今年は樹木の実(種子)が軒並み不作。このままでは野鳥が樹木の実(種子)を食べに来る姿もあまり観察できないかもしれません。旭山における今年の実のなり具合をまとめてみました。

- ナナカマド・・・凶作。園内ではほとんど赤い実を見つけることができません。
- アズキナシ・・・凶作。この2種は昨冬はツグミ、ヒレンジャク、キレンジャクなどが多くの野鳥が来ていただけに今年は痛手です。
- ハリギリ・・・凶作。シマエナガやウソなど多くの野鳥が寄り付くことが知られ昨年「大ブレイク」したハリギリも、今年はほぼまったく実がなっていません。
- シラカンバ・・・不良。昨年大豊作でマヒワとベニヒワが多い時は100単位で来て食べかすが降り注ぐほどでしたが、今年はそこまでにはならなそうです。
- ヤドリギ(アカミヤドリギ)・・・並。唯一多いですがレンジャク類が今冬は多く渡って来ていないようで実を食べる姿もあまり見られていません。
- ヌルデ・・・やや不良。アーチ橋の近くの大きな木に昨冬はハチジョウツグミが通い詰めていましたが、今年はその木の実のなりは少ないです。園内には実がなっている木もちらほらとあります。ヌルデの実には塩分が含まれており、ツグミ、ヒヨドリ、アカゲラ、コゲラなどがよく食べていますが、シマエナガがヌルデの実を食べる姿が今年初めて観察されました。他の樹木の実が少ない今冬はヌルデに要注目です。



ヌルデの実を食べるアカゲラ雄 ↑

樹木の種子は数年単位で豊凶の波を繰り返しており、今年はたまたま多くの樹木の「凶」が重なったもので、今年の温暖な気候とは必ずしも関係があるとはいえませんが、気にはなるところです。

旭山野鳥メモ③① ミソサザイ

ミソサザイ Eurasian Wren *Troglodytes troglodytes* スズメ目ミソサザイ科

北海道では1年中見られるが旭山では秋から春に見られる。笹のある斜面で「ジッ ジッジッジッ」と鳴きながら笹の中を移動しなかなか外に出てこないし出て一瞬。撮影に挑戦しがいのある鳥だが、それ故最近ではインスタグラムなどでも人気が高まってきている。

夏は溪流のある山地で繁殖する。長くて複雑な囀りは音の響きがきれいで声量も豊か。イギリスでは日本のウグイスのように最も囀りが親しまれている鳥であるという。旭山で囀りを聞く機会は少ないがごくたまにまだ暗い早朝に囀りが聞こえてくることがある。

ぱっと見黒いがよく見ると味わいがある深いチョコレート色。尾羽を立てて振りながら動く姿には愛嬌がある。日本ではキクイタダキの次、2番目に小さい鳥といわれている。

ところで、「ミソサザイでございまーす」と「サザエさん」の冒頭の台詞をもじっている人が世の中には意外にいたことが最近分かってきた。名前も姿も愛着が湧きやすい身近な野鳥のひとつといえるだろう。



2021年11/12月の野鳥トピックス

- ・シマエナガ: 森の家周辺でほぼ毎日午前中に一度は来ていますが、12月に入ってから11月よりも出現頻度が若干落ちました
- ・キクイタダキ: 冬に向けて観察機会が増えてきました
- ・ミソサザイ: 園内の笹のある斜面で比較的良好に見られています
- ・マヒワ: 12月に入りカラマツで観察機会が増えてきましたが、100羽単位で見られた昨年に比べるととうんと少ないです
- ・ベニヒワ: 秋に数回見られただけですがこの先来るかもしれません
- ・ウソ: 園内で声を聞くようになりましたがまだ遠めです
- ・シメ: 今までで一番というくらいに少なくとも見かける程度です
- ・ツグミ: 少ないですが12月に入り少し増えてきました
- ・カケス: 11月以降はほとんど観察されていません
- ・ヤマゲラ: まだ観察情報は少ないですがこれからです
- ・クマゲラ: 園内の近くでの観察情報はまだ少ないですがこの先増えるものと予想されます



コゲラ雄(後頭部に赤い羽が見える)↑

シマエナガはこんなところでも見られる！

シマエナガは「森林に隣接する開けた場所」(旭山記念公園がこれに当たる)、「ある程度幅がある防風林」、「木がまばらに生える場所」によく現れますが、今回は、札幌以外のこんな意外な場所でシマエナガを見たという情報をいくつか紹介します。

- ◎高速道路パーキングエリア(PA)は狙い目?・・・市街地から離れた場所にあるPAは現れやすい場所で、敷地内に林があればなおいい。岩見沢PA、美々PAで実際に見たことがあります。
- ◎美瑛「青い池」: 超有名観光地ですが、池西側の散策路に添った林に朝によく出て、時々対岸に渡って行きます。「青い池」をバックに撮れるといい。ちなみに「青い池」にはヤマセミも出ます。
- ◎美瑛「拓真館」: 林に囲まれ、いかにも好きそうな場所です。
- ◎富良野「朝日ヶ丘公園」: 山の一部が太い木が生える公園になっていて、桜がきれいですが、環境としては旭山に似ています。
- ◎「富良野チーズ工房」: 広い敷地ゆったりとした木立の中に建物が点在しカラ類も多く見られます。
- ◎千歳「旧長都沼」: 札幌圏の水鳥寄留地ですが、道路と川の間林にシマエナガが出ることがあります。

たまたま寄った場所でシマエナガが見られると嬉しいですね。ただ、そういう場所では得てしてカメラを持っていないもので、すぐ近くにいても撮れなかった・・・なんてくやしい思いをすることもあるかも。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第96号 2021(令和3)年12月10日発行
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所
<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目
電話 011-200-0311(金・土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351